

## 学校再編計画への思い

私たちは、牧之原市で育つ子どもたちが、どんな時代になっても自分の力で自分の未来を切り拓くたくましい大人になってほしいと願います。

牧之原市教育委員会では、平成31年3月に策定した「牧之原市望ましい教育環境のあり方に関する方針」において、義務教育の9年間で「次代を切り拓く力」を育むことを目標としています。

そのために、これからの社会を生きるために必要な資質や能力を様々な体験を通して身に付ける「キャリア教育」、子どもたちの学びと育ちを9年間の系統立てたものとする「小中一貫教育」、地域、家庭、学校、みんなが子どもの育ちと学びに関わる「コミュニティ・スクール」の導入により、キャリア教育の充実と地域愛を育む取組を進めることとしており、私たちも、この取組がさらに推進されることを望んでいます。

私たちは、この取組を推進するために、これまで10回の会議や視察、意見交換会等でさまざまな意見を聴きながら、「これからの時代を生きる子どもたちが学び育つ場としてどんな学校がよいか」を主軸に、牧之原市が目指すべき学校のあり方について協議してきました。

牧之原市が、この計画素案をもとに学校を再編することは、教育環境が整うだけでなく、少子化や人口減少等に歯止めを掛け、持続可能なまちとしての魅力の一つになると考えます。

この計画素案では、安心・安全で学びやすく、通いたい・通わせたいと思われる魅力的な小中一貫校をつくるために必要な学校像、学校区、学校の場所等についての考え方をまとめています。

市教育委員会は、この素案をもとに、関係部署等と連携を図りながら、スピード感を持って学校再編計画の策定と着実な実行をすることを望みます。